

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

企業理念

感謝と喜びの心を根本に、幅広い業種・業界により良い製品・サービスを提供し、お客様の事業創造に貢献するとともに、社会課題を解決する。

2 中長期の経営戦略

1. クラウドの浸透

パッケージソフト利用中のお客様をクラウドソフト『cシリーズ』へ切り替え、新規顧客獲得に注力。Broadleaf Cloud Platform上に多様なサービスを提供。

2. サービスの拡張

クラウドソフトのメニュー拡充と、保有するデジタルデータ・AI技術を活用した新たなプラットフォーム型サービスの研究開発を推進。

3. お客様のDX推進

お客様のデジタルトランスフォーメーションを推進し、新たな価値創造につながるビジネス環境の構築に貢献。

4. データエクステンジャー

Broadleaf Cloud Platform上に集まる情報を収集・分析・予想・統合し、付加価値を高めた情報提供を実施。

3 対処すべき課題

① クラウド化促進と機能拡充

- ・ 2025年12月にGlass.cで仕入・支払管理機能を実装したトータルパック提供開始
- ・ 証跡管理サービスをMaintenance.c・Repair.cのオプションとして提供し…
- ・ 業務アプリケーションによる効率化支援からトータルマネジメントシステムへ転換

② eコマース受発注ビジネス拡大

- ・ 自動車補修部品の電子受発注サービスで売り手・買い手双方がクラウド利用時の利便性向上
- ・ 業界全体の受発注業務・物流における非効率解消
- ・ ペーパーレス化と自動車リサイクル部品流通促進によるサステナビリティ課題解決

③ データ活用による新事業創出

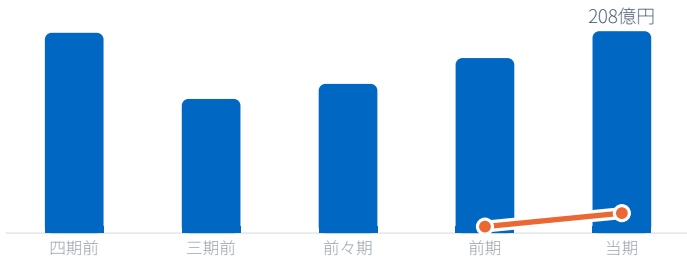
- ・ 過去40年分の膨大で機密性高い独自データを保有（国内車両整備データの約4分の1）
- ・ AIと独自データを組み合わせ他社にない唯一無二のサービス展開
- ・ カーオーナー向けサービス等の新規事業立ち上げ

面接で使えるポイント

- ・ Broadleaf Cloud Platformでデジタル化支援とトータルマネジメントシステム提供により…
- ・ 過去40年分の国内車両整備データの約4分の1を保有する独自強みを活かしたAI活用サービス開発
- ・ モビリティ産業の100年に一度の変革期において、自動運転・電動車両対応の新サービス開発に携われる機会

証券コード 3673

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
208億円営業利益率
9.9%財務健康度
57点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 52.7（当サイト算出の参考指標）

平均年収
647万円

情報・通信業内 316位/592社

平均年齢
46.6歳

情報・通信業内 36位/593社

平均勤続
13.4年

情報・通信業内 58位/593社

女性管理職
5.6%

情報・通信業内 327位/373社

男性育休
22.0%

情報・通信業内 287位/297社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: ブロードリーフ、自動車整備の透明性向上に関わる関連技術で特許

